

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 3 年 7 月 29 日 (2021.7.29)

【公開番号】特開 2019-166206 (P2019-166206A)

【公開日】令和 1 年 10 月 3 日 (2019.10.3)

【年通号数】公開・登録公報 2019-040

【出願番号】特願 2018-57595 (P2018-57595)

【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 5/04 5 1 2 Z

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 6 月 18 日 (2021.6.18)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技を行うことが可能な遊技機であって、
有利度を設定可能な有利度設定手段と、
第 1 操作と第 2 操作とを含む操作を検出する検出手段と、
前記有利度を選択可能な有利度選択状態に制御する有利度選択状態制御手段と、
前記有利度選択状態において前記有利度を選択する選択制御を実行する選択制御実行手段と、
前記有利度選択状態において前記有利度選択状態を終了させる有利度選択状態終了手段と、を備え、
前記検出手段は、前記第 1 操作が検出されている状態であっても、前記第 2 操作を検出可能であり、
前記選択制御実行手段は、前記有利度選択状態において、前記第 2 操作が検出されていない状態であり、前記第 1 操作が検出されていない状態から前記第 1 操作が検出されている状態に変化したときに、前記選択制御を実行し、
前記有利度選択状態終了手段は、
前記有利度選択状態において、前記第 1 操作が検出されていない状態であり、前記第 2 操作が検出されていない状態から前記第 2 操作が検出されている状態に変化したときに、前記有利度選択状態を終了させ、
前記有利度選択状態において、前記第 1 操作と前記第 2 操作との双方が検出されていない状態から前記第 1 操作と前記第 2 操作との双方が検出されている状態に変化したときに、前記有利度選択状態を終了させ、
前記有利度選択状態において、前記第 1 操作が検出されている状態であり、前記第 2 操作が検出されていない状態から前記第 2 操作が検出されている状態に変化したときに、前記有利度選択状態を終了させる、遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 0 3 】

また、複数の設定値のうちいずれかの設定値に設定可能な遊技機において、設定スイッチへの操作で設定値を変更させる特定状態に制御するものがあった。また、該特定状態中に、スタートスイッチへの操作で該設定値を確定させて該特定状態を終了させるものがあった（たとえば、特許文献 1）。

【 手 続 補 正 3 】

【 補 正 対 象 書 類 名 】 明 細 書

【 補 正 対 象 項 目 名 】 0 0 0 4

【 補 正 方 法 】 変 更

【 補 正 の 内 容 】

【 0 0 0 4 】

【 特 許 文 献 1 】 特 開 2 0 1 6 - 1 3 1 6 3 8 号

【 手 続 補 正 4 】

【 補 正 対 象 書 類 名 】 明 細 書

【 補 正 対 象 項 目 名 】 0 0 0 5

【 補 正 方 法 】 変 更

【 補 正 の 内 容 】

【 0 0 0 5 】

しかしながら、特許文献 1 のスロットマシンでは、設定スイッチへの操作などの第 1 操作と、スタートスイッチへの操作などの第 2 操作とが実行されたときの処理について検討の余地があった。

【 手 続 補 正 5 】

【 補 正 対 象 書 類 名 】 明 細 書

【 補 正 対 象 項 目 名 】 0 0 0 6

【 補 正 方 法 】 変 更

【 補 正 の 内 容 】

【 0 0 0 6 】

この発明は、かかる実情に鑑み考え出されたものであり、その目的は、第 1 操作と、第 2 操作とが実行されたときの利便性を向上させる遊技機を提供することである。

【 手 続 補 正 6 】

【 補 正 対 象 書 類 名 】 明 細 書

【 補 正 対 象 項 目 名 】 0 0 0 7

【 補 正 方 法 】 変 更

【 補 正 の 内 容 】

【 0 0 0 7 】

（ A ） 遊 技 を 行 う こ と が 可 能 な 遊 技 機 で あ っ て 、

有 利 度 を 設 定 可 能 な 有 利 度 設 定 手 段 と 、

第 1 操 作 と 第 2 操 作 と を 含 む 操 作 を 検 出 す る 検 出 手 段 と 、

前 記 有 利 度 を 選 択 可 能 な 有 利 度 選 択 状 態 に 制 御 す る 有 利 度 選 択 状 態 制 御 手 段 と 、

前 記 有 利 度 選 択 状 態 に お い て 前 記 有 利 度 を 選 択 す る 選 択 制 御 を 実 行 す る 選 択 制 御 実 行 手 段 と 、

前 記 有 利 度 選 択 状 態 に お い て 前 記 有 利 度 選 択 状 態 を 終 了 さ せ る 有 利 度 選 択 状 態 終 了 手 段 と 、 を 備 え 、

前 記 検 出 手 段 は 、 前 記 第 1 操 作 が 検 出 さ れ て い る 状 態 で あ っ て も 、 前 記 第 2 操 作 を 検 出 可 能 で あ り 、

前 記 選 択 制 御 実 行 手 段 は 、 前 記 メ ニ ュ ー 表 示 状 態 に お い て 、 前 記 第 2 操 作 が 検 出 さ れ て い な い 状 態 で あ り 、 前 記 第 1 操 作 が 検 出 さ れ て い な い 状 態 か ら 前 記 第 1 操 作 が 検 出 さ れ て い る 状 態 に 変 化 し た と き に 、 前 記 選 択 制 御 を 実 行 し 、

前 記 有 利 度 選 択 状 態 終 了 手 段 は 、

前 記 有 利 度 選 択 状 態 に お い て 、 前 記 第 1 操 作 が 検 出 さ れ て い な い 状 態 で あ り 、 前 記 第 2

操作が検出されていない状態から前記第 2 操作が検出されている状態に変化したときに、前記有利度選択状態を終了させ、

前記メニュー表示状態において、前記第 1 操作と前記第 2 操作との双方が検出されていない状態から前記第 1 操作と前記第 2 操作との双方が検出されている状態に変化したときに、前記有利度選択状態を終了させ、

前記有利度選択状態において、前記第 1 操作が検出されている状態であり、前記第 2 操作が検出されていない状態から前記第 2 操作が検出されている状態に変化したときに、前記有利度選択状態を終了させる。

(1) 遊技を行うことが可能な遊技機であって、

第 1 信号 (たとえば、スタートスイッチ 7 への操作に対応するスタートスイッチ信号) の入力状況と第 2 信号 (たとえば、設定スイッチ 9 への操作に対応する設定スイッチ信号) の入力状況とのうちの少なくとも一方により変化する入力データを読出す (たとえば、図 3 の S 1 に示すように、入力ポートのバッファを読み込んで A レジスタに格納する) 読出手段と、

前記入力データ (たとえば、データ A) を用いた第 1 演算を実行することにより第 1 演算後データを生成する (たとえば、図 3 の S 2 の吹き出しの S 2 a に示すように、データ A に対して、第 1 判定データである「 1 1 0 0 0 0 0 0 」を用いた A N D 処理を実行することにより、第 1 演算後データ A ' を生成する) 第 1 演算手段と、

前記第 1 演算後データに基づいて、前記第 1 信号と前記第 2 信号とのうちの少なくとも一方が入力されたか否かを判断する (たとえば、図 3 の S 2 の吹き出しの S 2 b に示すように、第 1 演算後データ A ' の 0 フラグが「 0 」であるか「 1 」であるかを判断する) 第 1 判断手段と、

前記第 1 信号と前記第 2 信号とのうちの少なくとも一方が入力されたとき前記第 1 判断手段により判断されたときに (たとえば、S 2 で Y E S と判断されたときに)、前記第 1 演算後データを用いた第 2 演算を実行することにより第 2 演算後データを生成する (たとえば、図 3 の S 3 の吹き出しの S 3 a に示すように、第 1 演算後データ A ' に対して、第 2 判定データである「 1 0 0 0 0 0 0 0 」を用いた A N D 処理を実行することにより、第 2 演算後データ A '' を生成する) 第 2 演算手段と、

前記第 2 演算後データに基づいて、前記第 1 信号が入力されたか否かを判断する (たとえば、図 3 の S 3 の吹き出しの S 3 b に示すように、第 2 演算後データ A '' の 0 フラグが「 0 」であるか「 1 」であるかを判断する) 第 2 判断手段と、

前記第 2 判断手段により前記第 1 信号が入力されたときと判断されたときに、前記第 1 信号に応じた処理を実行する (たとえば、S 3 で Y E S と判断されたときには、設定値を確定させるとともに設定変更状態を終了する) 一方、前記第 2 判断手段により前記第 1 信号が入力されなかったときと判断されたときに、前記第 2 信号に応じた処理を実行する (たとえば、S 3 で N O と判断されたときには、設定値更新処理を実行する) 処理実行手段とを備える。